

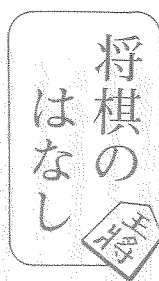


Title	協会のひろば : 詰め将棋の魅力
Author(s)	山口, 弘恭
Citation	makoto. 1979, 28, p. 10-10
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86120
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



詰め将棋の魅力

ある日の夕刊に掲載の記事が珍しかったので、参考までに。

詰め将棋ファンで、解答をみ

ずに難問と取り組んでいる方が

いる。これも結構だが私は解け

ないときは、解答をみて手順を

じっくり考えるほうがいいと思

っている。駒の利き筋を習得す

るにはそのほうがプラスになる

さて私がいくら考えても「詰

め」がわからなかった詰め将棋

1。そのころの詰め将棋には

「解答なし」というのが多かつ

た。だから自力で解かねばなら

ぬ。一題でも解けない問題があ

ると、私は気になってほかのこ

とが手につかない。十一歳の私

を苦しめた二題の詰め将棋のう

ち（1図および中段省略）

次は2図ですが、7二銀、9

一玉、9二歩、同玉、8三銀成、

8一玉、7二馬、9一玉、7三

馬、8一玉！ここまでではすぐ

わかったが、以下6三馬、9一

玉、（ハ7三馬）、8一玉、6三馬、9一玉の繰り返しでどうしても詰まない。

一カ月ほど考えた。この間、

やせる思いであった。盤上で離

れて置かれてある（ハ2七桂）が

気になってしかたがない。この

2七桂をどう活用するのか。や

っとわかった。

前記手順のうち13手目（7三

馬）で6四馬とし、以下8一玉

に5四馬、9一玉、5五馬！で

2七桂を取る手のあることがわ

かった。6一馬が2七桂を取る

までの動きは、盤面の線のように

にノコギリの刃のようである。

そこでこの馬の動きを「ノコギ

リびき」という。なんとえらい

手があるもんだとびっくりした。

こんな詰め将棋を考えるひとは、

どんな頭脳を持ち主かと少

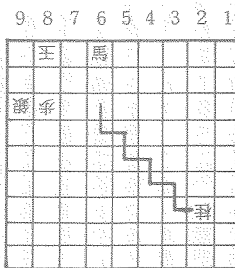
年の私はあきれられるばかり。とば

しいこづかいをはたいて、詰め

将棋の本を買いあさった。

△第2図▽持ち駒 銀歩

一一三四五六七八九



ある日、近くの古本屋をのぞいてみた。書棚をみているうちに「将棋図巧」という本が目にとびこんできた。手にとってパラパラとめくってみた。詰め将棋がぎゅっしりつまっているではないか。私はその本をしっかりと胸に抱きしめた。

伊藤看寿作「将棋図巧」第一

番をみたときの感動は、いまでも

忘れることができない。これを

きっかけに、私は詰め将棋創作

への興味をかりたてられていっ

た。

私は現在までに約千題の詰め

将棋をつくっているが、なかで

も十二歳のときの処女作品は、

いろんな方に激賞されたもので、

私の記念すべき詰め将棋である。

（九段内藤国雄、駒の詩より）

事務局 山口弘恭

お知らせ

当協会事業部では次のとおり

血清（治療剤）を常備しており

ます。

○ガスエソ抗毒素（国有ワクチン

ン払下品）

○乾燥破傷風抗毒素

○乾燥まむし抗毒素

保管場所

東大阪市中小阪五ノ一六三

防疫資材部

電話（06）七二四一〇五三三（代）

編集後記

御忙しい中、貴重な時間を

さいて御寄稿賜わり、厚く御

礼申し上げます。今年も味覚

の秋を迎えることになりました。

表紙のみかんは泉州で、

当協会阪南出張所所長着本氏

が写したものです。

アサヒペンタックス

タクマー35ミリ、ドライX

絞11 1—125秒

辻野記